

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	専修大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センシュウダイガク	
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学	
	大学等名2(連携大学等)		
	大学等名2(連携大学等)学校所在地		
	大学等名2(連携大学等)学校種別		
	科目名	インターンシップ	
	学部・研究科等名	商学部	
	担当教職員名・役職	伊藤和憲 教授	
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	5	
	受入企業等数	8	
要素①	受入企業等名	・ロイヤルブルーティージャパン株式会社・プラットフォームサービス株式会社・西迫会計事務所・日本電鍍工業株式会社 他4社	
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい	
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事	
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)		
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実際の企業等での業務体験を通して、授業で学んだ知識がどのように活用されているかを知り、学んだ知識の応用・適用の仕方を身に着ける機会としている。	
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
		2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
		2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
		2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
		2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		インターンシップは夏休中の10日間に実施できるようにしている。インターンシップ前に事前学習やマナー研修、実習後にプレゼンテーションのための事後学習や報告会を開催している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)		
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップの突発事項・日程変更などは大学に連絡が入るようになっている。	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習で、外部講師によるマナー研修を行っている。また、研修企業についてweb調査をして、研修目的を明確にさせている。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学習では、プレゼンテーションの練習をしながら研修目的の達成を確認している。また、企業側と学部教員との報告会を開催している。	

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	定期的なモニタリングは行っているわけではない。トラブルにならないように事前調整は行っているが、発生したら学生から教員へ、もしくは企業側から事務へ連絡が来るようになっている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前に研修目的を明示させ、その達成度を自己評価する報告書を書かせている。この報告書を教員が評価基準に基づいて点数化して成績評価している。他にも、企業の担当者による主観的評価を行っているが、成績には反映させていない。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施期間10日間以上に加え、事前授業、事後授業を合わせて約10回(1回90分)程度行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生に企業紹介をする前に事務担当者が実習内容を確認しており、その記事を参考にして学生が自らの実習課題を設定している。企業の担当者は実習中の評価を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/slbsbdr.do?value(risyunen)=2018&value(semekikn)=1&value(kougicd)=25176&value(crclumcd)=
問い合わせ先	大学等名	専修大学
	担当部署名	教務課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	044-911-1255
	メールアドレス	ckyomu@acc.senshu-u.ac.jp